UNIVERSITY OF TOYAMA

富山大学基金だより

第28号
2026.11.1発行

●学部1年次対象 短期海外英語研修　研修体験記　〔令和８年２月・３月に、2週間から4週間の短期海外派遣〕



台北101展望台で
研修メンバーとの集合写真

所　属：薬学部 創薬科学科 ２年
名　前：岩﨑 煌芽
留学先：台湾
留学先機関名：開南大学



この度は、富山大学基金の短期海外派遣プログラム支援事業に参加させていただき、ありがとうございました。中2で渡米した弟の挑戦に刺激を受け、大学での留学を決意した私にとって、初の海外となった台湾での2週間はかけがえのない経験となりました。

日本語がない環境での授業やペアワークを通じ、完璧さに捉われず伝えようとするアウトプットの姿勢の大切さを学びました。現地の方々や富大メンバー、チューターさんとの交流で日本の固定観念が払拭され、視野が一気に広がりました。未知の世界へ飛び込む楽しさを知ると同時に、客観的に日本の恵まれた環境を再認識できたことも大きな収穫です。将来、世界で活躍できる治験の仕事に携わり、難病に苦しむ人々に貢献できるよう、この体験を第一歩として今後も更なる成長を目指します。

所　属：医学部 医学科 ２年
名　前：江田 智識
留学先：オーストラリア　留学先機関名：アデレード大学





Cleland Wildlife Parkでの集合写真。
富山大学、明治大学、早稲田大学の
混合グループの仲間と一緒に

この度の研修に際し、富山大学基金からのご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。私はオーストラリア・アデレード大学において、**5**週間の海外研修に参加してまいりました。

現地では大学、国籍不問のクラスに参加し、英語の実用的な文法、エッセイ、プレセンテーションなどを学びました。**Medical Communication**の授業では、英語での医療面接技法や痛みを表す表現等を学びました。実際に海外で医師として働く上で役立つ知識を得ることができ、海外臨床実習への参加意欲が高まりました。

ホームステイでは、ホストファミリーとの交流を通して異文化に触れる一方、生活習慣の違いや人間関係に戸惑うこともありました。しかし、その経験から日本での生活や価値観を見直すことができました。

今後は、この研修で得た学びを、今後の学生生活や医師としての将来に活かしていきたいと思います。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

所　属：工学部 工学科応用化学コース ２年
名　前：川上 未玲
留学先：マレーシア　留学先機関名：トゥンクアブドゥルラーマン大学



この度は、学部１年次対象短期海外英語研修に際し、ご支援していただきありがとうございました。私は今回が初めての海外渡航だったので不安が大きかったのですが、現地の生活を体験する中でたくさんの刺激を受けることができ、充実した２週間となりました。

マレーシアは中国やインドなどの文化が入り混じった国であり、特に食事や衛生環境を通して価値観の違いに触れ、多くの発見を得ました。日本の良さを再認識し、他国の文化にも興味が広がりました。また、現地の学生さんとの会話や授業でのプレゼンテーションを通して英語がテストのための科目ではなくコミュニケーションのための道具であることを実感し、英語を使うことへの恐怖が薄れました。

今回の経験で私は未知の世界に挑戦することへの楽しさを学びました。これは今後の学びや成長につながる大きな糧になったと確信しています。今後も語学学習に積極的に取り組んで自分の世界を広げていきたいです。

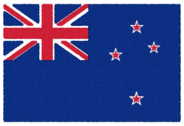


お世話になった現地学生との集合写真



ホストファミリーで参加した
チャリティーマラソン

所　属：人文学部 人文学科 3年
名　前：村上 真琴
留学先：ニュージーランド
留学先機関名：オークランド大学



この度は、富山大学基金による短期海外英語研修のご支援をありがとうございました。私はオークランド大学付属のELAという語学学校で約5週間のプログラムに参加しました。授業では教科書を活用し、幅広いテーマについてクラスメイトと議論しました。また、オークランドの観光マップを自分たちで作成し、実際に現地へ足を運んでみるなどしました。

ホームステイの生活は夜ご飯を家族みんなで食べ、休日にはスーパーにお出かけをするなど日常生活の中で英語を使う貴重な経験でした。中でも、ホストファミリーで参加したチャリティーマラソンは今回の研修で特に印象に残っている思い出です。

今回の海外研修によって、たとえつたない英語であっても積極的に話してみることの重要さを知ることができました。そして、この経験を今後の異文化交流や普段の英語学習に活かしたいです。改めて、このような貴重な機会をご支援いただきありがとうございました。

●富山大学基金事業　海外留学・語学研修等支援プログラム　留学体験記

所　属：経済学部 経済経営学科 2年
名　前：釣 琴羽
留学先：アメリカ　留学先機関名：サンフランシスコ州立大学



この度は、富山大学基金による海外研修支援をいただき、ありがとうございます。今回の短期海外語学研修では、英語学習だけでなく、現地での生活やさまざまな人との交流を通して、多くの経験を得ることができました。午前中は3時間の英語授業を受け、文法や語彙、発音、現地のスラングなどを学びました。現地学生と会話する機会も多く、間違いを恐れず、自分の知っている英語で伝えようとする姿勢が大切だと学びました。休日には友人と交通手段などを調べ、自分たちで計画して行動しました。さらに、台湾やブラジルなど異なる国や地域の人々と交流し、文化や考え方の違いに触れることができました。

今回の研修を通して、英語を話すことへの抵抗が少なくなるとともに、異なる文化や価値観を知ることの面白さを実感しました。海外で実際に生活し、人と関わり、自分自身で行動した経験は、自分の視野を広げる貴重な機会となりました。今後はさらに学習を続け、より自然に英語でコミュニケーションを取れるようになりたいです。



午後の活動で訪れたゴールデンゲートブリッジ

●寄附者様ご芳名一覧(令和８年４月～令和８年９月)

寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ウェブサイトでもご紹介しております。

【個人】（50音順にて記載）
會澤 宣一　浅井 岳見　荒井 美浩　石川 寛大　大森 利昭　片岡 弘　光地 大介　小堺 美恵子　杉井 志織　杉田 昇　竹越 栄俊
塚田 千代子　東田 千尋　遠山 和大　永尾 恵司朗　中嶋 洋　中田 由紀子　長津 利枝　中辻 裕司　長屋 貴子　日水 栄　藤本 孝子
舟田 智　前田 等　三原 弘　森本 直幸　森山 健三　吉川 朋子　　（ほか公表辞退　33名）

【企業・法人等】
富山スガキ株式会社　富山大学生活協同組合　北陸電力株式会社　株式会社堀江商会　一般財団法人立仁会　　（ほか公表辞退　3社）

●富山大学基金の寄附受入状況

受入期間：令和8年4月～令和8年9月末

寄附の種類	寄附件数	寄附金
富山大学基金(一般)	55件	14,437,427円
うちリサイクル募金	10件	46,601円
修学支援基金	14件	560,000円
研究等支援基金	7件	5,085,000円
合　計	76件	20,082,427円

●富山大学、メルマガはじめました！

毎月、富山大学の
最新情報をお届けします。

お問い合わせ先：富山大学総務部総務課広報・基金室(基金担当)
〒930-8555 富山市五福3190　Tel. 076-445-6178　Fax. 076-445-6063
E-mail：kikin@adm.u-toyama.ac.jp　URL：https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp